

# 近代土木の 先駆者

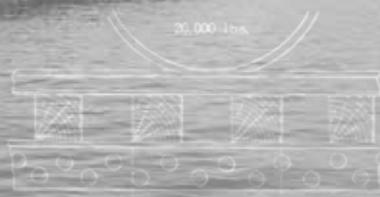


FIG. 34.



FIG. 5.



## Isami Hiroi

「廣井勇を顕彰する会」設立記念

## 廣井勇を顕彰するシンポジウム

参加費無料 定員270名  
CPDS 又は CPD 認定 (2単位)

5月14日 14:00-16:00

サンピアセリーズ3階【レインボーホール】  
高知市高須砂地155番地

### 第1部 記念講演

14:00 - 15:15

「土佐が生んだ土木偉人 廣井勇と小樽築港」

講師：古川 勝三 氏

### 第2部 リレーション

15:15 - 16:00

「廣井山脈の土木偉人たちの功績」

高知工科大学システム工学群：浦西 真維

「八田與一と烏山頭水庫」

高知工業高等専門学校：田村 誠悟

「増田淳が設計した四国の橋」

高知工業高校土木科：武市 恋

保川 明香里

### 近代土木の先駆者 廣井勇について

近代土木の礎を築いた廣井勇は、文久2(1862)年に土佐藩佐川村に生まれ、時代が江戸から明治へと移り、世の中が大きく変革していく中、人一倍の努力により日本を代表する土木技術者となりました。

数多い功績の中で、何と言っても驚かされるのは、キラ星のごとく活躍した弟子の多さです。博士の東京帝国大学の教授時代、台湾南部を穀倉地帯に変えたダム建設で有名な八田與一をはじめ青山士、久保田豊、宮本武之輔、増田淳、堀見末子等々、博士の生き方に憧れ、教えを吸収した優秀な門下生は、橋梁、河川、ダム水道、都市計画などの分野で活躍し、日本の近代化に大きく貢献したのです。

主催：「廣井勇を顕彰する会」設立準備会  
助成支援：(一社) 四国クリエイト協会

事務局：(株) 第一コンサルタンツ 堀田  
TEL：088-821-7770 FAX：088-821-7078



記念講演講師

古川 勝三 氏

## 略歴

- 1944年 愛媛県宇和島市生まれ
- 1967年 愛媛大学卒業、以後教職の道を歩む
- 1980年 文部省海外派遣教師として、台湾省高雄日本人学校で3年間勤務
- 1983年 「台湾の歩んだ道」「台湾を愛した日本人」台湾で出版
- 1991年 「台湾を愛した日本人」で土木学会著作賞受賞
- 2001年 「嘉南大圳之父」八田與一傳 中国語版台湾で出版
- 2009年 「台湾を愛した日本人」土木技師八田與一の生涯改正版を創風社より出版
- 2013年 台湾政府観光局より台湾観光貢献賞 (Taiwan Tourism Award) 授与される
- 2013年 「日本人に知ってほしい『台湾の歴史』」を創風社より出版
- 2015年 「台湾を愛した日本人Ⅱ」近藤兵太郎の生涯をアトラス出版より出版

## 「土佐が生んだ土木偉人 廣井勇と小樽築港」

民衆のために生きた二人の土木技師、八田與一と宮本武之輔の生涯を調べている時、土木技術者としての価値観が一人の恩師によって育まれたことを知った。その恩師が高知県佐川町出身の広井勇であった。広井の業績は二つに集約することができる。土木技術者として挑んだ小樽北防波堤の構築であり、もう一つが教育者として有能な若き土木技術者を育てたことである。広井とその門下生なくして明治以降の土木の近代化はなかったと言っても過言ではない。

### 廣井山脈の土木偉人たちの功績



高知工科大学  
システム工学群  
浦西 真維

廣井勇の最大の功績の1つは、多くの優れた門下たちを育て上げ、社会に送り出した事である。彼の優れた友人知人や門下たちは、「廣井山脈」と呼ばれ、一代目、2代目、3代目、、、と、現在まで続いている。ここでは、「廣井山脈」の弟子たちと彼らの作った土木構造物の一部を紹介する。

### 八田與一と烏山頭水庫



高知工業  
高等専門学校  
田村 誠悟

高知高専では今年度から3年次台湾研修旅行が始まり、土木・建築を学ぶまちづくり・防災コースは、廣井勇の弟子である八田與一が建設に携わった烏山頭水庫へ行きます。そこで、古川勝三氏著「台湾を愛した日本人」などの資料を参考に、八田與一という土木技術者の生涯と私たちが目指すべき技術者像について発表します。

### 増田淳が設計した四国の橋



高知工業高校  
土木科  
武市 恋  
保川 明香里

卒業前に先生から、廣井勇の門下生で香川県出身の増田淳について、発表したらと誘われ、調べた事を発表します。増田淳は、全国各地で多くの橋を設計しており、今でも四国には吉野川橋と長浜大橋が現役で活躍しています。私たちも、いつまでもみんなに愛される土木構造物の建設に携わっていきたくと思っています。

## お知らせ

シンポジウム終了後、「廣井勇を顕彰する会設立廣井総会」(16:30-17:00)  
その後「交流会」(17:30-19:30)を同所で開催します。